

I 区の特性と想定される災害

第1章 西成区の特性

第1節 自然特性

1. 位置

西成区は、上町台地の西側から木津川に至る間に位置し、北に浪速区、東に阿倍野区、南に住之江区、木津川を挟んで西に大正区が隣接している

2. 面積

7.37 平方キロメートル

3. 地勢

上町台地の西側で木津川に広がる低地帯で、中世頃までは現区域の大半が海辺に面していたと推定されている。区内はおおむね平坦な地形であり、地盤高は、海拔約1m～5mで東側に高く西に向かってなだらかに標高が低下する地形となっている。

第2節 社会特性

1. 人口、構成

人口は108,724人（R1.10.1 現在 推計人口）で、69,680世帯あり、1世帯当たり1.56人/世帯となっている。年齢別の構成比は15歳未満6.6%、15～64歳53.6%、65歳以上39.8%という、高い高齢化率となっている。

年齢別人口

西成区	人数	総人口に対する割合
総人口	108,724	—
0～14歳	7,149	6.6%
15～64歳	58,313	53.6%
65歳以上	43,262	39.8%

（令和1年10月1日現在 推計人口による）

年次	人口	世帯数	1世帯当たりの人員(人)
平成27年	111,938	69,401	1.61
平成28年	110,925	69,126	1.60
平成29年	110,410	69,401	1.59
平成30年	109,764	69,711	1.57
令和元年	108,724	69,680	1.56

（太字は国勢調査結果<平成27年は国勢調査結果(速報)値>その他は各年10月1日の推計人口による）

連合別人口及び世帯数

連合町会	総数	世帯数	1世帯当たりの人員 (人)	平成22年国勢調査との比較		
				人口(概数)	増減	増減率(%)
西成区	111,938	69,401	1.61	121,972	- 10,034	- 8.2%
弘 治	5,274	3,469	1.52	5,374	-100	-1.9
長 橋	6,630	3,806	1.74	6,724	-94	-1.4
萩之茶屋	14,895	13,586	1.10	18,901	-4,006	-21.2
今 宮	7,402	5,014	1.48	8,558	-1,156	-13.5
橘	8,947	4,765	1.88	9,311	-364	-3.9
松之宮	3,699	2,097	1.76	4,116	-417	-10.1
梅 南	5,001	2,743	1.82	5,214	-213	-4.1
玉 出	9,428	5,589	1.69	9,652	-224	-2.3
岸 里	13,224	7,643	1.73	13,614	-390	-2.9
千 本	10,510	5,325	1.97	11,309	-799	-7.1
津 守	2,329	1,185	1.97	2,818	-489	-17.4
南津守	9,538	4,512	2.11	10,361	-823	-7.9
北津守	2,238	1,174	1.91	2,720	-482	-17.7
山 王	3,253	2,455	1.33	3,351	-98	-2.9
飛 田	1,271	1,114	1.14	1,244	27	2.2
天下茶屋	8,299	4,924	1.69	8,705	-406	-4.7

(平成27年国勢調査集計結果(速報)による)

※この結果数値は概数をもとに集計されたものであるため、後日、総務省から公表される数値と異なる場合がある。

2. 避難行動要支援者

要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児・児童・傷病者・外国人など特に配慮を要する者）のうち、自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者を避難行動要支援者といい、西成区では、大阪市保有情報（※1）と任意登録（※2）による要配慮者情報からなる「西成つながり名簿（愛称）」を作成している。

（※1） 大阪市保有情報：要介護3以上の人/要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人/身体障がい者 1.2 級/知的障がい者 A/精神障がい者 1 級/視覚障がい・聴覚障がい3.4級/音声・言語機能障がい3級/肢体不自由（下肢・体幹機能障がい）3 級/人工呼吸器装着等、医療機関等への依存が高い者 を抽出

（※2） 任意登録：身体等の状況によらず、自力避難に不安を抱える方が任意で登録

3. 土地利用

江戸時代の西成区は、畑場ハカ村と呼ばれた地域に属し、大坂三郷にそ菜を供給する近郊農業地帯として発展した。また、区の東部を通る旧紀州街道（住吉街道）は、16世紀頃から堺の発展とともに拓けたもので、史跡なども残っている。

現在は、国道26号・43号・大阪臨海線（新なにわ筋）などの幹線道路、Osaka Metro・JR・南海電車が通る交通至便な地である。

4. 老朽住宅密集市街地

大阪市には、JR大阪環状線外周部等の震災による焼失を免れた地域を中心に、老朽化した木造住宅が多く存在しており、防災性や住環境面で様々な課題を抱えた密集住宅市街地が形成されている。西成区においてはこのような地域が区域の約44%（321ha）存在し、これらの地域は、火災発生時に大火となる危険性と建物倒壊により道路が閉鎖され、避難が困難となる危険性が高く、災害発生時に被害が大きくなりやすい地域といえる。

